

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

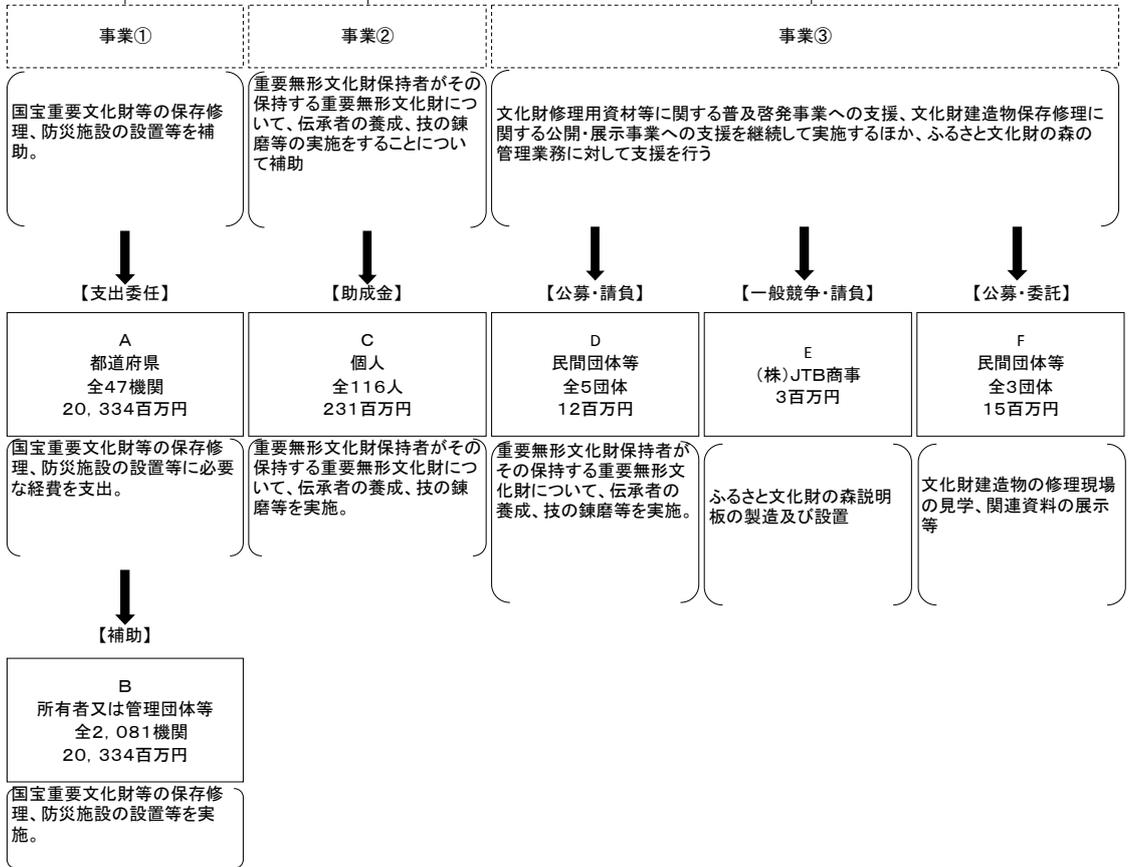
事業名	国宝・重要文化財等の保存整備等	担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和25年度	担当課室	伝統文化課 美術学芸課 記念物課 参事官(建造物担当)	伝統文化課長 浅野治夫 美術学芸課長 栗原 祐司 記念物課長 矢野和彦 参事官(建造物担当) 村田健一			
会計区分	一般会計	施策名	X II - 2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化財保護法 第35条、第74条、第77条等	関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針 (第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定) 他				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の国民共有の財産である貴重な国宝・重要文化財等を確実に次世代に継承するために、所有者・管理団体等が行う文化財保護のための事業に対して国庫補助を行う。 また、貴重な文化財を次世代に継承するために、文化財修理用資材等の安定的な確保と、当該資材に関わる技能者の育成を目的とし、「ふるさと文化財の森」事業を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	文化財保護法に基づき、①国が文化財のうち重要なものを指定等し、現状変更、修理等に制限を課す一方、その保存を図るため、有形の文化財(建造物、美術工芸品、民俗文化財等)については、保存修理、防災施設の設置等(昭和25年度開始)、②無形の文化財(芸能、工芸技術、民俗芸能等)については、伝承者養成や記録作成等に対して国庫補助を行う。(昭和27年度開始)(補助率50%~85%) ③文化財を次世代に継承するための修理用資材確保及び資材に関わる技能者の育成の為、資材供給林(「ふるさと文化財の森」)の設定、資材採取研修、文化財修理用資材等に関する普及啓発事業、文化財建造物保存修理に関する公開・展示事業、ふるさと文化財の森の管理業務に支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	19,770	20,437	21,828	19,774	26,718
		補正予算	△ 1	1,045	△ 741	0	
		繰越し等	214	△ 393	△ 175	923	
		計	19,983	21,125	20,912	20,697	26,718
	執行額	19,767	20,543	20,597			
執行率(%)	98.9%	97.2%	98.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	文化財所有者等からの要望に基づき、予算の範囲内で補助対象事業を選定するため、事前に定量的な目標を定めることは困難である。	成果実績 達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	補助対象件数	活動実績 (当初見込み)	件	2,035	2,028	2,052 () ()	— () ()
単位当たりコスト	9,910千円/件	算出根拠	22年度決算額 20,335 (百万円) 22年度補助事業件数 2,052 (件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	庁費	20	17	【東日本大震災復興関連事業 要求額 4,055百万円】 「大規模史跡等防災対策推進事業」の新規要求及び文化財の防災対策の拡充による増など ※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない			
	職員旅費	2	1				
	委員等旅費等	2	1				
	国宝重要文化財等保存整備費補助金	19,518	26,468				
	重要無形文化財保存特別助成金	232	232				
計	19,774	26,718					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	△	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業については、実績報告書の精査を行うとともに、整備された施設、成果物の活用状況の現地確認、会計処理などの実地検査等を行い、より適正に補助金が執行されるよう努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、「文化財保護法」に基づき、国宝、重要文化財等の所有者又は管理団体等が実施する文化財保護のための事業に対し補助を行うものであり、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:本事業については、毎年度数億円単位の不用が生じていることもあり、引き続き、補助事業者のニーズなど事業量の適正な把握に努めることにより、予算の見直しを図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>近時の災害発生状況等を踏まえ、防災対策により重点化する一方、保存修理については補助事業者のニーズなど適正な事業量を把握することとし、概算要求に▲1, 255百万円反映した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

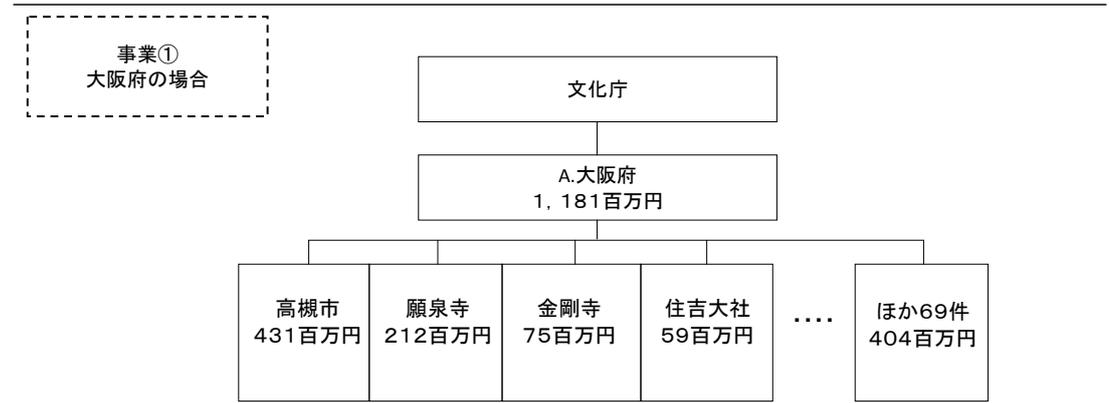
※平成22年度実績を記入

文化庁
20,597百万円

委員等旅費 1百万円
 その他(諸謝金・職員旅費・庁費) 1百万円
 ※上記費目は謝金等であり100万円を超えるものはない。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.京都府			E.株式会社JTB商事		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	支出委任	1,898	資材費	文化財修理資材確保の説明板製造資材費	2
			人件費等	製造人件費、運搬費、設置人件費等	1
計		1,898	計		3
B.高槻市			F.重要文化財善導寺保存修理特別公開実行委員会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	今城塚古墳附新池埴輪製作遺跡	431	事業費	事業重要文化財善導寺保存修理公開・展示	8
計		431	計		8
C.個人A			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2			
計		2	計		0
D.やさと茅葺き屋根保存会			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	筑波山麓の茅葺き民家と茅場の維持保全をはかるための普及啓発事業	3			
計		3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	京都府	支出委任	1,898	—	—
2	奈良県	支出委任	1,318	—	—
3	大阪府	支出委任	1,181	—	—
4	福岡県	支出委任	999	—	—
5	東京都	支出委任	925	—	—
6	沖縄県	支出委任	804	—	—
7	兵庫県	支出委任	717	—	—
8	鳥根県	支出委任	696	—	—
9	新潟県	支出委任	650	—	—
10	長崎県	支出委任	585	—	—

※支出委任であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	高槻市	今城塚古墳附新池埴輪製作遺跡	431	—	—
2	出雲大社	出雲大社本殿ほか22棟	326	—	—
3	(管)姫路市	姫路城大天守	325	—	—
4	願泉寺	願泉寺本堂ほか5棟	212	—	—
5	全国文化財保存技術連合会	選定保存技術の技術者養成及び研修等	206	—	—
6	薬師寺	薬師寺東塔	199	—	—
7	善導寺	善導寺大庫裏ほか6棟	196	—	—
8	函館市	五稜郭跡	180	—	—
9	平戸市	平戸和蘭商館跡	176	—	—
10	勝興寺	勝興寺大広間及び式台ほか10棟	166	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
2	個人B	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
3	個人C	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
4	個人D	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
5	個人E	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
6	個人F	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
7	個人G	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
8	個人H	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
9	個人I	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—
10	個人J	重要無形文化財の伝承者の養成、技の錬磨等	2	—	—

支出先上位10者リスト

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	やさと茅葺き屋根保存会	筑波山麓の茅葺き民家と茅場の維持保全活用をはかるための普及啓発事業	3	企画競争	100%
2	一般社団法人日本茅葺き文化協会	五箇山の茅場と茅葺き文化の維持保全活用をはかるための普及啓発事業	3	企画競争	100%
3	公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会	文化財建造物保存活用公開セミナー	3	企画競争	100%
4	河内長野市教育委員会	平成22年度滝畑ふるさと文化財の森センター普及啓発事業	2	企画競争	100%
5	漆サミット実行委員会	漆サミット2011	1	企画競争	100%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社JTB商事	ふるさと文化財の森説明板の製造及び設置	3	3	66.9%

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	重要文化財善導寺保存修理特別公開実行委員会	重要文化財長勝寺庫裏修理現場公開	8	企画競争	100%
2	(社)弘前観光コンベンション協会	事業重要文化財善導寺保存修理公開・展示	5	企画競争	100%
3	文化財を学び伝える会	知られざる永保寺 ～国宝開山堂修理 特別公開～	2	企画競争	100%